

銀行名	北九州銀行
タイトル	投資型クラウドファンディング「開花」を活用した創業・新事業等の支援について
取組み内容	【動機（経緯）】 - 平成 27 年 1 月、当行の持株会社である山口フィナンシャルグループの傘下の山口銀行、山口大学、(株)MOT 総合研究所は、起業家育成等の創業支援による地元経済の活性化を目的として、「包括的連携協定」を締結した。 - 平成 27 年 4 月、連携協定の具体的な取組みとして、山口銀行、山口キャピタル、(株)MOT 総合研究所を主体として、趣旨に賛同した地元企業 21 社の出資により、山口ソーシャルファイナンス(株)（クラウドファンディング運営会社）を設立した（銀行出資によるクラウドファンディング運営会社としては日本初）。 - 当行では、当運営会社の投資型クラウドファンディング「開花」の普及活動を通じて、地域貢献を目指す事業者の支援や、創業期の事業者の資金調達の支援を行っている。 【取組み内容】 - クラウドファンディングは、地元企業や事業を応援したいという人が資金を拠出するものであり、地域が一体となって地元企業や事業を支援できる仕組みである。 - また、その資金調達のプロセスにおいて、新事業や新商品等が実際に顧客に受け入れてもらえるものかどうかを確認できる市場調査機能も有しており、取引先支援の有効な手段となっている。 - 現在、当行域内の案件として、下記の 2 つのファンドを募集している。 プロサッカーチーム A 社 A 社は地域と共に歩んできクラブチームであり、地域への想いを形にするために、地域貢献のイベント開催資金を「開花」にて集めた。 このファンドにより、当チームのイメージ向上やサポーター増強等を目指している。 化粧品製造業 B 社 B 社は特殊な技術を有する福岡県北九州市のベンチャー企業（化粧品製造業）であり、全国展開のための費用を「開花」にて集めている。 クラウドファンディングの市場調査機能を活用した全国展開を目指している。 【取組みの効果】 - 平成 27 年 6 月に当運営会社のサービスを開始し、現在、当行域内の募集ファンドは 2 件であるが、複数の事業者より相談が寄せられており、認知度が向上してきた。 - 今後も、引き続き地方創生に係る取組みのひとつとして、投資型クラウドファンディングの活用した、地域貢献を目指す事業者、創業支援及びこれまで融資の対象となりづかった小規模事業者の支援を行っていく。 以 上

銀行名	北九州銀行
タイトル	再生ファンドを活用し、経営改善計画を策定した事例
取組み内容	1. 当該取組みを始めるに至った経緯、動機、打開が必要だった状況 ・ 土木工事業、基礎杭打工事業C社。 ・ 公共工事減少、過去の設備投資過多により、業況悪化・資金繰り逼迫し、平成14年8月延滞発生。当時の並行メインを含む他行がサービサーへの債権売却、保証協会代位弁済、担保不動産処分等により回収を図ったことで、事実上経営破綻に至った。その後、金融機関から新規借入等の正常な取引が出来ない中、保有資産（重機）の取引先へのセール&リースバックによる資金調達を行いながら、一定の受注・CFを確保し、取引先等の支援もあり事業を継続しながら、借入金の返済を進めていた。 ・ 杭打工事については、相応の技術力を有し、近年では受注環境が好転したことや、不採算であった公共工事部門から撤退する等により、相応の売上高を計上し、採算性向上への取組みも図られていたが、過去のセール&リースバックによるリース料の過大な支払い負担や金融機関から資金調達ができないことによる目先の資金繰り確保のための不採算工事の受注が当社の課題となっていた。 2. 当該取組みの具体的内容 ・ 外部専門家の関与による事業DD、財務DDの結果を踏まえ、過大な債務超過の状態にあるものの、金融支援と各種改善策の取組みにより、経営改善の可能性は高いと判断した。 ・ 中小企業診断士・会計士・再生ファンドと連携し、窮境原因である遅延損害金を含めた過大債務や収支悪化の要因であったセール&リースバック取引の解消を行うこととした、経営改善計画策定に関与。 ・ 他行と協調の上、遅延損害金及び未払利息の減免を実施。 ・ 再生ファンドにて重機買取資金（ニューマネー）を対応（社債引受け方式）。 ・ 過去代位弁済を受けていた債務について、信用保証協会制度融資「求償権消滅保証」を利用した当行新規融資により、代位弁済債務消滅。 ・ 経営者保証ガイドラインに照らし、現状経営に関与していない創業者一族を保証人から脱退させた。 ・ 商手及びスポット資金への対応による資金繰り支援を継続中。 3. 当該取組みの成果 ・ 多額のリース料支払い負担が解消され、大きく収支が改善した。 ・ 未払利息・遅延損害金等の解消により、金融機関からの資金調達が可能となった。 ・ 再生ファンドも交えた継続的な指導により、社内管理（採算、工事進捗等）体制の構築がなされた。 以 上

銀行名	北九州銀行
タイトル	会社清算型スキームによる事業再編
取組み内容	1．当該取組みを始めるに至った経緯、動機、打開が必要だった状況 ・ 摩棒鋼製造業D社。 ・ 過去の主要取引先の倒産による売掛金の回収不能や、これまでの累積赤字により大幅な債務超過となっている。 ・ 磨棒製造はもともと薄利の中、市場縮小により、売上高は低下傾向。 ・ 設備の老朽化により生産効率の低下、品質の低下を招いているが、設備更新投資には多額の資金が必要であり、市場縮小している状況から投資回収も難しく、設備投資に踏み切れない状況。 ・ 本社は空港に隣接する広大な敷地上にあり、近年の不動産価値の上昇により、売却による債務返済が可能な水準であったが、簿価が低く多額の売却益計上に伴う税負担の発生が懸念され、売却に踏み切れずにいた。 2．当該取組みの具体的内容 ・ 当社の取引先の1社がスポンサー意向を表明したことで、スポンサーによる支援を前提とした当社の今後の再建にかかるスポンサーとの交渉、専門家紹介、関係者間調整を行った。 ・ 本社土地・建物の売却について不動産仲介業者と連携し買い手探索。 ・ 多額の不動産売却益の税負担軽減のため、経営再建に精通している税理士を紹介し、会社分割による再建案を提示。 ・ 売却対象土地内の工場に賃借人がいたが、売却に伴う退去に際し代替用地の探索等行うことで、円滑な不動産売却を支援。 3．当該取組みの成果 ・ 不動産売却代金により、借入金全額を完済し、実質債務超過も解消。 ・ 新会社には一部従業員が引き継がれ、スポンサーの販売部門として特化し事業継続することで、地域雇用の継続に寄与した。 以 上

銀行名	北九州銀行																						
タイトル	北九州市プレミアム付商品券発行運営業務の一括受託を通じた地域経済貢献について																						
取組み内容	【動機（経緯）】 ・ 北九州市は、平成 27 年 5 月、地域経済の活性化を目的としたプレミアム付商品券事業の受託者を一般公募した。 ・ 当行は、北九州市に本店を置く唯一の地方銀行として、地方創生の取組み並びに地域経済への貢献を目的として応募し、選定された。 【取組み内容】 ・ 平成 27 年 6 月から平成 28 年 3 月まで、北九州市民及び市内事業者にとって利便性の高い事業となるように、商品券の印刷、募集、販売、換金、広報の企画から運営まで、プレミアム商品券にかかるすべての業務を行った。 ・ 従来の地域金融機関のプレミアム商品券付事業への関与は、商品券換金業務が主体であったが、当行のように運営業務を一括受託するケースは全国的にも珍しい。 ・ 当行が取組んだ特徴的な取組内容は下記のとおり。 地元企業と連携した事業運営 当行をはじめ北九州市に本社を置く地元企業と連携して、商品券の発行、販売等の業務を行い、事業の地産地消を目指した。 資金繰り支援融資の取扱い 売上代金として商品券利用者から受け取った商品券が換金されるまでの期間について、立替資金を用意する融資制度を準備した。 ■ 事業概要 <table border="1"> <tr> <td>名 称</td><td>元気発進！北九州プレミアム商品券</td></tr> <tr> <td>発行総額</td><td>27 億 6 千万円</td></tr> <tr> <td>発行冊数</td><td>230,000 冊（発行枚数 276 万枚）</td></tr> <tr> <td>申込冊数</td><td>367,782 冊（当選倍率 1.60 倍）</td></tr> <tr> <td>1 冊当たりの発行額</td><td>12,000 円（プレミアム率 20%）</td></tr> <tr> <td>1 冊当たりの販売額</td><td>10,000 円</td></tr> <tr> <td>利用期間</td><td>平成 27 年 9 月 1 日(火)～12 月 31 日(木)</td></tr> <tr> <td>購入対象者</td><td>市内の居住者に限る</td></tr> <tr> <td>購入限度</td><td>1 人 5 冊まで</td></tr> <tr> <td>販売方法</td><td>予約により購入者を決定し（応募者多数の場合は抽選）、商品券引換所にて販売</td></tr> <tr> <td>商品券が利用できる店舗</td><td>登録店舗約 5,300 店</td></tr> </table>	名 称	元気発進！北九州プレミアム商品券	発行総額	27 億 6 千万円	発行冊数	230,000 冊（発行枚数 276 万枚）	申込冊数	367,782 冊（当選倍率 1.60 倍）	1 冊当たりの発行額	12,000 円（プレミアム率 20%）	1 冊当たりの販売額	10,000 円	利用期間	平成 27 年 9 月 1 日(火)～12 月 31 日(木)	購入対象者	市内の居住者に限る	購入限度	1 人 5 冊まで	販売方法	予約により購入者を決定し（応募者多数の場合は抽選）、商品券引換所にて販売	商品券が利用できる店舗	登録店舗約 5,300 店
名 称	元気発進！北九州プレミアム商品券																						
発行総額	27 億 6 千万円																						
発行冊数	230,000 冊（発行枚数 276 万枚）																						
申込冊数	367,782 冊（当選倍率 1.60 倍）																						
1 冊当たりの発行額	12,000 円（プレミアム率 20%）																						
1 冊当たりの販売額	10,000 円																						
利用期間	平成 27 年 9 月 1 日(火)～12 月 31 日(木)																						
購入対象者	市内の居住者に限る																						
購入限度	1 人 5 冊まで																						
販売方法	予約により購入者を決定し（応募者多数の場合は抽選）、商品券引換所にて販売																						
商品券が利用できる店舗	登録店舗約 5,300 店																						

【取組みの効果】

当行

- ・ 地元金融機関としての知名度向上
- ・ 商品券が利用できる店舗（事業者）の預金口座獲得、メイン化地域
- ・ アンケート結果より、商品券が利用できる店舗で「何らかの効果（売上増加、来店客増加等）があった」と答えた割合は73.2%
- ・ 新規に誘発した消費喚起効果：約20億5百万円
- ・ 市内経済全体への経済波及効果：約57億33百万円

以 上

北九州市内全域で使えるプレミアム商品券を販売します。

発行総額 27億6千万円

元気発進！北九州

プレミアム商品券

予約受付開始!!

事前の予約がないと購入できません

平成27年 7/1(水)~平成27年 7/31(金)

当日消印有効

額面1,000円券12枚(1冊)

10,000円で 12,000円のお買い物ができます。 2,000円分お得!

プレミアム商品券の概要

販売冊数	23万冊(額面:27億6千万円)
販売額	1冊(1,000円×12枚)を10,000円で販売(プレミアム20%)
利用期間	平成27年 9/1(火)~平成27年 12/31(木)
販売方法	予約販売(専用申込書の郵送又はFAX、インターネットによる申し込みなど)
購入対象者	北九州市内居住者 ※応募者多数の場合は抽選
購入冊数	1人5冊まで
商品券取扱店	北九州市内に店舗があり、商品券取扱店登録(ステッカー掲示のある店)をした小売店、飲食店、サービス業など(市内の概ね5,000~10,000店舗を予定)。取扱店はホームページなどでご案内します。

銀行名	北九州銀行
タイトル	社会貢献への取り組み
取り組み内容	1．ギラヴァンツ北九州オフィシャルスポンサー ギラヴァンツ北九州(サッカーJ2リーグ)の2015シーズンオフィシャルスポンサーとして、地域の活性化を支援した(2016シーズンもスポンサーを継続)。 また、J2リーグ公式戦を「北九州銀行マッチデー」と題して当行冠協賛試合を開催、チーム強化費の寄付を行うとともに、北九州市教育委員会を通じて地元北九州市内の小中学生80名を招待した。 この他、期間限定でギラヴァンツV預金を取扱するとともに、売上金の一部がギラヴァンツ北九州の支援金となる飲料自動販売機(通称:ギラベンダー)を北九州エリア各本支店13店舗に設置している。 2．北九州銀行杯小中学生イングリッシュコンテストの開催 北九州から国際社会で活躍する人材の育成を積極的に支援することを主旨として開催し、北九州市のほか福岡市や熊本市などから約200名超の小中学生が参加した。 3．ひまわりBIGリコンテストの実施 ひまわり(北九州市の市花)の育成を通じて緑の普及・啓発を図り、郷土愛を育むことを主旨として、北九州市と協力して開催した。当行においては、熱心な取り組みが見られた学校に、特別賞として2校にテントを贈呈した。 4．北九州銀行レトロラインの運行 北九州市門司区の門司港レトロ観光列車・潮風号を北九州銀行レトロラインとして運行し、地域の観光振興を支援している。 また、山口フィナンシャルグループ各行のお客さまを対象に、1日フリー乗車券を優遇価格で提供している。 5．小さな親切運動北九州市本部加入 心のかようあたたかな社会作りを目指し、青少年の心の育成事業などを展開する「小さな親切運動」北九州市本部に加入している。 当行では、北九州市内各所で行われる「日本列島クリーン大作戦」に毎年継続して約280名が参加しており、清掃活動による街並みの美化に取り組んでいる。 6．北九州ゆめみらいワークの協力 高校生や大学生らに地元企業の魅力を知ってもらうことを目的として、北九州市が地方創生事業の一環として開催した体験型就職イベントに、当行も協力しイベントブースを出展。当行においては、会社概要、銀行業務の説明のほか、札勘教室や1億円の重さを体験できるイベントを実施。当日は6,000名を超える来場者となった。 7．北九州マラソン協力 北九州市の一大イベントである「北九州マラソン」に、約100名の行員がボランティアスタッフとして参加。 8．環境問題への取組の推進 節電・CO²削減の取組として、クールビズ・ウォームビズ、毎月1回の一斉消灯日・ノーマイカーデーなどを継続実施。 9．積極的な情報発信 当行のCSR活動について、ニュースリリース、ディスクロージャー誌やホームページへの掲載、市の広報誌に掲載されるなど、積極的な情報発信に努めた。 以 上